

春日市
地域活動
指導員だより

No.113

2018.9月号

いん

地域の未来へつなぐ活動情報紙

みんなで春をつくろう

発行：春日市教育委員会

地域教育課 とも共育担当

TEL 092-558-1270

FAX 092-584-1153

地域で子どもを育てる活動情報をお寄せください（イベント予告可）
地域活動指導員が取材に伺います。

夏休み期間中、市内各地で自治会やPTA主催の様々な体験活動が行われました。そこには子どもたちのために汗を流しておられる多くの方の姿がありました。参加した子どもたちは、初めての体験でドキドキしたり、できるようになってワクワクしたり。たくさんのふれあいの中で、子どもたちの地域愛が育まれています。

楽しかった夏の思い出



春日・惣利・平田台・塚原台 合同 “牛頸川清掃・魚とり大会”

4地区自治会合同で行われる年に1度の「牛頸川の大掃除」と「魚とり大会」!!炎天の中汗を流して掃除を頑張り、川はとてもきれいになりました。掃除の後には、放流された魚を素手や網でつかまえ、普段できない体験に大きな歓声が上がりました。



白水ヶ丘 世代間交流 “陶芸教室”

白水ヶ丘公民館で開かれた陶芸教室に参加した親子は約70名。陶芸用の土の塊から、好きな形の湯のみやお皿などを作りました。できあがった作品は地域のウトグチ窯で焼かれ、子どもたちに届けられました。



春日東小・大谷小 “なかよしキャンプ”

春日東小学校と大谷小学校合同のキャンプが行われました。2つの学校をあわせて縦割り班に分け、学校も学年も違う初めてのお友だち。ゲームや野外炊飯、キャンプファイヤー、肝試しなどの活動を通して中学校区内の交流を深めました。



桜ヶ丘地区 “魚とり大会”

桜ヶ丘地区公民館に特設プールが設置され、ヤマメのつかみ取り大会が開催されました。暑さの中みんな大盛り上がり。つかまえた魚は串にさし、炭で塩焼きに。おいしいヤマメに舌鼓を打っていました。



アンビシャス広場・子ども会など、社会教育に関する情報は、
春日市ホームページ内 『子育て・教育』⇒『社会教育』からご覧いただけます。

～放課後子供教室～

アンビシャス広場紹介

アンビシャス広場とは、放課後や休日に学校や公民館で自由に遊んだり、様々な体験ができる「子どもたちの居場所」です。今後も活動を紹介していきますので楽しみに！

春日西アンビシャス広場

📍 会場：春日西小学校（多目的ホール） 開設日：第4土曜日

異年齢集団遊びの活動をしている「遊ぼう西っ子」では20名以上の子どもたちがドッチビーなどを楽しんでいます。中学生・高校生がボランティアとして参加しており、異年齢の交流の場にもなっています。



天神山小学校校区コミュニティアンビシャス広場

📍 会場：松ヶ丘公民館 開設日：金曜日・第3土曜日

松ヶ丘公民館では第1・3金曜日に「卓球ひろば」、第2・4金曜日に「遊びひろば」を開催しています。「卓球ひろば」では1年生から6年生まで、多いときには15人を超える子どもたちが参加し、ボランティアの指導のもとラリーなどを楽しんでいます。第3土曜日には春日郷土カルタの体験もできます。



春日南小学校区アンビシャス広場

📍 会場：惣利公民館 開設日：第2・4火曜日

惣利公民館では月に2回、図書室を開放しています。充実した本は貸し出しも行っています。静かな環境の中で子どもたちは本を読んだり、宿題に取り組むなどして過ごしています。



日の出アンビシャス広場

📍 会場：日の出小学校 開設日：火・水・木・金曜日

日の出小学校では学校の各教室で「生け花」「バレーボール」「囲碁・将棋」「おひさま文庫（読み聞かせ）」の活動が行われています。水曜日は体育館でバレーボールが行われ、参加者全員気持ちのいい汗を流しています。



春日野アンビシャス広場

📍 会場：春日公園公民館 開設日：火曜日・第4月曜日・第2土曜日

春日公園公民館で第2土曜日に開催されている「お菓子づくり教室」は毎年人気の活動です。限られた時間の中で協力しながらお菓子作りを楽しんでいます。その他にも火曜日に「図書室開放」を、第4月曜日に「お話し会」を開催しています。



すぐっ子アンビシャス広場

📍 会場：須玖小学校（家庭科室） 開催日：第2土曜日

すぐっこアンビシャス広場クッキングクラブでは、お弁当の日に向けて料理教室を開催しています。メニューは主菜、副菜、デザートと多彩です。1年生から6年生までの混合班に中学生のボランティアも加わり、異年齢で交流しながら料理を楽しんでいます。



バスハイクに行きました！



夏の特別企画！春日小アンビシャス広場が『福岡県青少年科学館』へ、谷っ子アンビシャス広場が『福岡市科学館』へバスハイクに出かけました。プラネタリウムで星座について学んだり、科学のおもしろさを体験したり、ドキドキワクワクな1日になりました。



▲春日小アンビシャス広場



▲谷っ子アンビシャス広場

白水池 “公民館キャンプ”

白水池地区では、6年生を対象に公民館で日帰りキャンプを行いました。薪を割ってご飯を炊き、カレー作りを行った後、すいか割りやゲーム、花火などを楽しみました。たくさんの地域の方に見守られて、思い出深いキャンプになったことと思います。



コミュニティ食堂 ～昇町公民館～



昇町のコミュニティ食堂は、食事を提供するだけでなく、大人も子どもも集う「地域の居場所」となっています。7月21日（土）、この日は地区内外から約30名のボランティアが運営に携わり、180食が準備されました。2階の部屋を使ってアンビシャス広場も開催され、正しいお箸の持ち方を体得できる「箸りんびっく」、紙コップやビーズを使ったもの作りのコーナー、助産師さんによるベビーマッサージの体験もあり、約140名の来場者で賑わっていました。中学生がボランティアとして参加し、小学生も積極的に受付や片づけを手伝うなど、子どもたちが地域の方と交流しながら様々な体験をする場にもなっています。



▲紙コップ工作



▲箸りんびっく

★きらい春日の人★

谷っ子アンビシャス広場

さかい
坂井

かすこ
和子さん



坂井さんが地域の子どものためにボランティア活動を始められたのは約40年前。春日市のスポーツ少年団の立ち上げ、大谷地区の子ども会や育成会の運営などに携わり、子どもたちの健全育成に尽力してこられました。現在は毎週火曜日、谷っ子ホールで行われるアンビシャス広場で、子どもたちに昔遊びの指導や見守りを行っています。子どもたちを笑顔で、時には厳しく見守る坂井さん。子どもたちと遊ぶことが元気の源だそう。そんな坂井さんに子どもたちは全幅の信頼を寄せています。「自宅には近所の子どもが遊びに来ます。巣立って行った子どもたちも遠くから会いに来てくれたり、手紙をくれたりするんですよ。」と嬉しそうに話す坂井さん。最近では坂井さんに刺激を受けた若いお母さんたちにも見守りの輪が広がっているそうです。子どもたちを育てる地域コミュニティの輪の中心には、いつも坂井さんの優しい笑顔があります。

トピックス

279! (つなぐ) “小学校対抗 綱引き選手権” 春日市 宝町チーム 優勝!



毎年恒例、24時間テレビで生中継される“小学校対抗綱引き選手権”。綱を通して一致団結し、宝町の2チームが見事予選を突破。8月26日(日)の本選に出場しました!本選が行われたのは、イオンモール福岡。たくさんの応援の中で、練習の成果を存分に発揮し「春日宝町リトルリベンジャーズ」が見事優勝!「春日宝町ストロングバービーズ」も3位と大健闘でした。

宝町を中心に活動する綱引きチームは、綱引きで地域活性化を図ることを目的としています。今年度よりアンビシャス広場としての活動も始め、第1・3土曜日18時から19時まで春日東小学校多目的ホールで練習しています。



春日市六中・生徒会サミット 実践発表会&出前トーク「市長と語る」

春日市青少年育成市民会議主催

春日市中学校生徒会による「六中生徒会サミット実践発表会」。これは、昨年12月に行われた「六中生徒会サミット研修会」で話し合われた、「自分たちの学校生活をより良いものとするための課題」に対してどう取り組み、どのような成果を得られたかの実践発表です。生徒会としてリーダーシップをとり、課題解決を目標とする生徒たちの成長した姿をみる事ができました。午後からの「市長と語る」では、「不登校の生徒への取組は」「市民として中学生にできる事は」など多くの質問や要望などがだされ、春日市に対する中学生の思いを知ると同時に、将来を担う頼もしさを感じることができました。



星の館 バブルロケット工作

通常、毎週土曜日の夜に行っている「おはなし会」。夏休みは特別にお昼の時間に開催しています。この日は20名の子どもたちが参加し「バブルロケット工作」。フィルムケースを利用して本体のロケットを作り、思い思いに色づけをしました。秘密の燃料をもらって水を入れると、2m近く打ちあがるロケットもあり、子どもたちから大きな歓声があがりました。



夏のふれあい体験王国

春日市あそび名人の会主催

春日市ふれあい文化センター新館ギャラリーを使って行われた『夏のふれあい体験王国』には、約300名の親子が来場し、竹細工や紙細工、バルーンアートなどのもの作りを体験しました。竹笛作りは、竹のパーツに磨きをかけ、吹き口を接着剤でつけて完成させます。できあがった竹笛のきれいな音色に、思わずこぼれる笑顔。子どもたちの真剣なまなざしが印象的でした。

